

学校法人イーエスピー学園
専門学校ESPエンタテインメント東京

2025年度 自己点検評価報告書

評価基準日 2026年 3月 31日

評価対象期間 自：2025年4月 1日

至：2026年3月31日

評価項目

1. 学校の教育目標
2. 本年度に定めた重点目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
 - (1). 教育理念・目的・育成人材像
 - (2). 学校運営
 - (3). 教育活動
 - (4). 学修成果
 - (5). 学生支援
 - (6). 教育環境
 - (7). 学生の受入れ募集
 - (8). 財務
 - (9). 法令等の遵守
 - (10). 社会貢献・地域貢献
4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果



○自己評価委員会 構成

- ・委員長 長谷川 英律（総務部長）
- ・委員 伊藤 順一（教務課）
袖嶋 浩之（管理部長）
澤田 吉剛（企画広報課 係長）
横堀 耕祐（学生支援課 係長）
阿部 奈央（総務課）

1. 学校の教育目標

【建学の精神】

音楽・楽器を創造することを通じて豊かな人格を形成し、さらに自己の可能性を追求する人材の育成。

【教育の理念】

建学の精神に基づき、エンタテインメントに関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。

【目的】

当学園は、学校教育法及び本学園の教育理念に基づき、エンタテインメントに関する知識や技術を授け、人格の涵養のもと、個性と可能性を大きく伸ばした人材を育成することを以って、文化の向上と社会の発展に貢献することを目的とする。

【育成人材像】

感動を創造できる人材を育成する。それは以下のような人材像である。

1. 好奇心を持ち続け、常に課題（テーマ）を見つけ、解決することができる人材
2. 初心を忘れず、常に目標（夢）を持ち、達成し続ける人材。
3. コミュニケーションをとり、仲間と仕事をやり遂げることができる人材。

【運営方針】

- ・教育の理念に基づき、教員、設備、カリキュラム等、教育環境の充実を図る。
- ・学生との緊密な関係を築いていくために最大限の支援体制を構築する。

2. 本年度に定めた重点目標や計画

1. 進級率・卒業率を向上させるための学生サポート体制強化

- ・学生個別の対応強化
- ・施設、設備等の教育環境整備
- ・家庭（保護者）と学校との連携強化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) .教育理念・目的・育成人材像

評価項目		自己点検 評価結果
1 - 1	理念・目的・育成人材像は定められているか	3
<p>建学の精神、及び本学園の理念に沿った目的、育成人材像は前述の「1. 学校の教育目標」に記載の通り定めている。建学の精神と教育の理念はホームページやパンフレット等にも明示している。</p>		
1 - 2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3
<p>当校の教員は基本的に現役の業界人で構成されており、授業計画はそういった教員の意見も反映して作成している。また、教育課程編成委員会を組織し、業界関係者の意見をはじめ、設立母体である(株)イー・エス・ピー、及びキャリアサポートセクションの情報も積極的に取り入れ、カリキュラムに反映していることから、適合していると判断する。</p>		
1 - 3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3
<p>エンタテインメント業界への人材輩出を使命とする本校は、業界のニーズに対応するために、特色のある8学科28コースを設置しており、学科・コース全体がエンタテインメント業界の縮図となっている。また、教員には、教務課の意向に沿い、尚且つ時代のニーズに合ったカリキュラム改革にも意欲的な人材を適宜起用している。</p>		
1 - 4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	2
<p>関連業界では、従前より専門的な知識・技能を持つ人材を求め、それに応じる形で卒業生が多く業界に巣立っていった。一方で最近では（他業界でも言われるように、専門的な知識・技能だけでなく）やる気、コミュニケーション能力、自己肯定など、人間性（人間力）を併せ持つ人材が求められている。これは本学のキャリアサポートセクションを介して企業の採用担当者からも声が上がっており、授業の中で可能な限り即戦力となる普遍的な能力の習得も指導している。</p>		
評価者		伊藤 順一

(2) . 学校運営

評価項目		自己点検 評価結果
2 - 1	理念等に沿った運営方針を定めているか	3
1. 学校の教育目標下部に記載の通り運営方針を定めており、本法人の理念や目的に沿った方針であると認識している。		
2 - 2	事業計画、中長期的計画に、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか	3
学園の中期経営計画2025-2029を制定し、基本理念のもとに「社会環境変化への対応」「重点施策」「数値モニタリング」など具体的な行動指針に沿った施策を行っている。		
2 - 3	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営を行っているか	3
組織図、及び業務分掌規程を整備し、各部署の役割を明確にして運営を行っている。また、各種規程を整備し、必要に応じた会議、委員会を実施し、議事録を作成し格納している。		
2 - 4	人事・給与に関する制度を整備し、適切な運営を行っているか	3
教職員選考及び採用規程を整備し、適格に運用している。昇進・昇給の基準、人事考課制度の規程に則って年3回の人事考課を実施しており、給与に関する内容はもちろん、業績や業務内容、業務に取り組む姿勢等についても評価、及びフィードバックを実施している。		
2 - 5	意思決定システムを整備し、適切な運営を行っているか	3
定期的に開催される管理職会議、教務会議等で意思決定が成され、議決事項は各部署、及び各学科運営に必要なレポートラインにて共有されている。		
2 - 6	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3
各業務で様々なシステムを導入し、運用している。多種多様な電子ツールの使用により、スムーズに業務が進行していると認識している。具体的には2025年度から、学園全体で電子署名サービスを導入し、業務効率が向上している。		
評価者		伊藤 順一

(3) .教育活動

評価項目		自己点検 評価結果
3 - 1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3
教育課程編成委員会規程を整備し、委員会を実施することで、エンタテインメント業界の最新の動向把握に努め、その為の知識や技術を習得できるよう図っている。尚、当該規程内に方針を明示している。		
3 - 2	教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか	3
教育課程を体系的に編成できるよう8学科28コースを設置している。実際の授業科目も、それぞれのコースに即したもので構築している。		
3 - 3	講義、演習、実技など、科目に応じた授業形態と教材が適切に使われているか	3
講義、演習、実技など、受講体制は様々だが、卒業後にエンタテインメント業界や楽器業界で迷うことがないように、ホールやレコーディングスタジオなど設備の充実や使用教材（工具）などを適切に提示できていると認識している。		
3 - 4	教育課程について外部の意見を反映しているか	3
教育課程編成委員会、及びキャリアサポートセクションを通じた企業の担当者からいただいた意見を学科内で検討し、必要なものは適宜カリキュラムに反映している。		
3 - 5	キャリア教育を実施しているか	3
当学園の理念や、本校の目的や運営方針がキャリア教育を行う為のものとなっており、設備やライブ研修等、キャリア教育に相応しい内容であると認識している。		
3 - 6	授業評価を実施しているか	2
前期と後期に実施する試験に加え、学生へのアンケート調査や個別面談を実施し、学生の理解度を確認することによって、評価を行っている。さらに教務スタッフによる定期的な授業視察を実施し、授業の進め方に問題があれば適宜教員への指導を行っている。		
3 - 7	成績評価・卒業認定基準を明確化し、適切に運用しているか	2
学則には「詳細は別に定める」と記載しており、シラバスにも評価方法について明示している。シラバスは本校ホームページに公表しており、学生へも明示されている。		

(3) .教育活動の続き

評価項目		自己点検 評価結果
3 - 8	卒業認定基準を踏まえ、教育到達レベルや目標とする資格等は、明確に位置づけているか	3
各学科ごとに習得すべき内容によるが、段階的に学べ、学生の学習意欲の維持および向上に繋がるよう体系立てた指導内容であり、それは卒業認定基準を満たしていると認識している。		
3 - 9	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3
学内で実施する作品コンテスト、発表イベントの他、外部イベントやオーディションの情報収集も行い、把握に努めている。		
3 - 10	教育課程を実施するのに必要な資格・要件を備えた教員を確保するために、基準等(教員の採用基準等)を整備し、適切に運用しているか	3
エンタメ業界、及び楽器業界で活躍する者で、学校教育法上の欠格事由、並びに東京都暴力団排除条例等（反社排除）に定義される規制対象者に該当しないこと、さらに専修学校設置基準に定められている要件を満たしているかを確認し、教職員選考・採用規程に従い、面接等所定の審査を行い、教員を確保している。		
3 - 11	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規定等で定めているか	3
各科、コースに担当者を配置し、レポートラインも明確にすることで、組織体制維持や業務に必要な通達、及び情報も即時伝達できる体制、規程を整備している。		
3 - 12	教員間で連携、協力体制を構築しているか	3
管理職および職員間の連携には、電子ツールを運用することで、部署や担当業務を超えた柔軟な報告・連絡・相談の体制が構築できていると認識している。		
3 - 13	教育活動の改善・工夫、教員の研究・自己啓発支援、資質向上への取り組みを行っているか	2
基本的に業界で活動している者を教員として採用しているが、教育の質を向上するための指導方法や学生との接し方について、教職員間で定期的に問題を共有し、教員への指導を行っている。また全職員向けにセキュリティ意識の向上のためのeラーニングを用いた研修を取り入れたほか、リーダー級の職員に対する資質向上、自己啓発の研修なども、その取り組みを始めている。		
評価者		伊藤 順一

(4) .学修成果

評価項目		自己点検 評価結果
4 - 1	就職率の向上が図られているか	3
<p>就職支援専任の部署キャリアサポートセクション（CSS）を設置している。学内に企業を誘致し企業説明会を積極的に開催している。また、エンタメ業界企業から求人情報を収集し、学生がいつでも閲覧できるようオンライン上で公開している。学生指導に関しては、講義などで全体指導を行った上で、求人紹介や履歴書添削、面接練習などの個別指導によりきめ細かい指導を行っている。卒業時には卒業生全員に対して進路調査を行い、把握したデータを元に指導方法の改善に努めている。グループ校、姉妹校とも関連業界、学生の動向などの情報を共有し、トレンドに合わせて常に変化しながら就職支援を行っている。</p>		
4 - 2	資格取得率の向上が図られ、そのための指導体制を備えているか	3
<p>在学期間中に資格取得のための筆記、及び実技対策講座を各科各コースにおいて適宜実施している。また、有資格者を教員として配置する等前述の対策講座以外にも通常授業内でも充実を図っている。いま現場で必要な資格が取得できるよう、企業の声を反映している。</p>		
4 - 3	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の習得についての目標を定め、その目標が達成できているか	3
<p>本校では卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに求められる職業能力や社会人として必要な資質・能力の習得目標を明確に設定している。各科目の到達目標や教育課程との関連を整理し、授業評価、成果物、資格取得状況、就職状況等を通して、これらの目標が達成されているかを定期的に確認・検証している。</p>		
4 - 4	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか	3
<p>学生一人ひとりが望む進路を実現できるよう、進路指導に関する目標を定めている。キャリア教育や個別面談を通じて希望進路の明確化を図るとともに、就職支援を体系的に行い、進路決定状況や満足度等をもとに、目標が達成されているかを確認している。</p>		
4 - 5	卒業生の社会的評価を把握しているか	3
<p>学生支援課において業界、企業との接点を多く持ち、各所で活躍する卒業生たちの動向把握、評価情報の収集を行うことによってその評価を確認している。</p>		
評価者		横堀 耕祐

(5) . 学生支援

評価項目		自己点検 評価結果
5 - 1	キャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか	3
<p>学生支援課内に、専門部署としてデビューサポートセクション（DSS／音楽・芸能活動支援部署）およびキャリアサポートセクション（CSS／就職支援部署）を設置し、学生一人ひとりの希望や状況に応じた進路支援体制を構築している。これらの部署については、入学後のガイダンスや授業内での案内、掲示板等を通じて、利用方法の周知および利用促進を図っている。また、運用にあたっては、学校等の行う無料職業紹介事業として正式な許可を受け、業務取扱要領に基づき、適切に運用している。</p>		
5 - 2	留年者、退学希望者等、学修の継続に問題を抱える学生に対し適切に対応し、退学率の低減が図られているか	2
<p>進級、及び卒業に必要な出席率を下回った学生から優先的に個別面談を実施している。保護者へも連絡をすることで、家庭内からも就学に向けて協力を促している。学習面において出席率や成績により補講を実施している。また、心理面でのケアが必要な学生には後述の相談室を案内している。毎年授業アンケートを実施し、学生の声を反映している。</p>		
5 - 3	学生相談に関する体制、環境を整備し、適切に運営しているか	3
<p>各学科教務、また学生支援課では、定期的に個別面談を行う他、何か相談の申し出があった際にはその都度個別相談に応じる体制を敷いている。学校の職員・講師や家族・友人等の身の回りの人に相談しづらいケースについては、毎週木曜日に外部のカウンセラーによる相談室を開催し、対応している。相談内容によっては専門の病院を案内する場合もある。相談室はZOOMを使用したオンラインにも対応しており、現状では十分な対応が出来ていると認識している。</p>		
5 - 4	留学生に対する相談体制を整備しているか	3
<p>学生支援課内に国際コミュニケーションセンター（ICC/留学生支援部署）を設置し、入学前～在学時～卒業後も、常時どのような相談も受け付けており、専任の職員が個別に対応を行う体制を作っている。外国人の職員も勤務しており、外国語での対応が必要なケースにも対応している。</p>		

(5) . 学生支援の続き

評価項目		自己点検 評価結果
5 - 5	学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適正に周知、運用しているか	3
<p>当校は修学支援新制度の対象校として確認されており、給付奨学金、授業料等減免が受けられる体制となっている。その他学校独自の奨学金制度として「E S P 学園特待生奨学金制度」「イーエスピー学園卒業生・在校生兄弟姉妹特別奨学生」を整備している。</p> <p>また学費納入は年間2期での分納も認められている。</p> <p>これら学費等経済面におけるサポートについてはホームページ、掲示板等で告知し、質問、相談は専任の職員によって一括管理されている。</p>		
5 - 6	学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備、運用しているか	3
<p>毎年全学生を対象とした健康診断を実施している。体調不良による欠席者の対応で、必要な場合は医療機関の受診を勧める場合もある。</p> <p>また、産業医及び学校医として外部医院の医師を選任し、委託。学内に常設の保健室を設置している。</p>		
5 - 7	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	3
<p>学生寮等の運営をしている複数の会社と提携し、整備されている。</p>		
5 - 8	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3
<p>クラブ活動には必ず教職員が顧問となり、活動状況の把握および安全管理に努めている。また、発表会等の実施に際しては、教職員が引率・管理を行い、適切な運営体制を確保している。その他、学外での活動サポートとして、学外のライブハウスを定期的に借用し、ライブイベントを企画・開催するなど、課外活動を支援する体制を整えている。</p>		
5 - 9	保護者との連携体制を構築しているか	3
<p>教育活動に関する情報は期末に行われる試験の個別成績発送の際に共有し、保護者と連携した指導を行う。また、保護者の方が直接来校された際には学科責任者及びそれに準ずる者が対応している。</p> <p>緊急時には情報管理システムに登録されている情報から保護者の方へ個別に連絡する。</p>		

(5) . 学生支援の続き

5 - 10	卒業生への支援体制を整備しているか	3
<p>卒業後もキャリアサポートセクション(CSS/就職支援部署)、デビューサポートセクション(DSS/音楽・芸能活動支援部署)の利用が可能で、転職のサポートや新たな活動の場となるオーディション情報の提供など、在学と同様に支援する体制を敷いている。</p> <p>また、卒業後も求人情報並びにデビュー情報の提供を希望する人は、事前にキャリアサポートセクション、デビューサポートセクションに登録することで、求人情報とデビュー（オーディション）情報をオンライン上で得る体制を整えている。</p>		
5 - 11	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	1
<p>エンタテインメント業界の企業の意見としても「現場で学ぶのが一番」という声があり、採用選考の過程においてもインターンシップ等が実施されることも多く、卒業後に改めて産学連携による再教育を行うことへのニーズが無いと認識しているため、現状は実施していない。</p>		
5 - 12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	1
<p>社会人経験者の入学は問題ないが、働きながら履修できる体制は取っておらず、社会人学生や、聴講生が入学できる体制を整備していない。</p> <p>また、本校で以前に社会人を対象とした付帯事業を行っていたが、利用者が少なく、社会人のニーズが無いものと判断し、現在では募集停止状態となっている。</p>		
評価者		横堀 耕祐

(6) . 教育環境

評価項目		自己点検 評価結果
6 - 1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3
各学科、各コースにおける必要な設備等は整備されており、関係法令上の基準に適合し、充実していると認識。また、卒業生にも一部施設利用を可能としている。		
6 - 2	学習支援のための施設(自習室等)の整備や休憩、食事のためのスペースを確保しているか	3
自習室、休憩室、食事のスペースなどは校舎内の各所に整備している。また休憩時間や放課後などの授業時間外においても、教室や授業設備を利用できる環境を整え、学生が快適な学習活動を行えるよう配慮している。		
6 - 3	火災の発生や防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
防災・危機管理等に関するマニュアルを整備し、組織的な防災体制を構築している。学生に対しては、ガイダンス時等に各校舎の避難経路を実際に確認させるとともに、周辺地域の避難場所についても周知を行い、非常時の行動について理解を深めている。また、各校舎は耐震化対応を完了しており、消防設備については法令に基づき保守点検を実施するなど、防災体制の適切な運用に努めている。		
6 - 4	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、安全対策を適切に行っているか	3
学校安全計画を保健計画と並行して策定。また防犯マニュアル、学校安全計画及び関連マニュアルも整備されている。その他、衛生管理者、産業医による巡回、指導を実施し、安全管理に対する意識付けと環境整備をを常時行っている。		
6 - 5	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか	3
施設・設備の維持管理は総務課が中心となり、日常点検は現場担当者や衛生管理者が実施している。両者が連携し、必要な補修や改善に迅速かつ適切に対応している。		
6 - 6	施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか	3
施設の改築・改修及び設備更新については総務課が中長期計画を策定し、それに基づいて計画的かつ適切に実施している。		
評価者		袖嶋 浩之

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目		自己点検 評価結果
7 - 1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3
<p>高等学校等の進路説明会に可能な限り参加し、教育活動等の情報提供を定期的に行っている。 また軽音楽部、吹奏楽部など同分野部活との連携の機会の中で、特色の打出しを行っている。</p>		
7 - 2	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3
<p>本校においては4月入学のみであり、それに向けた願書受付としてAO入試、推薦入試、一般入試を実施しており、各入試の実施時期は東専各からの通達に則して行っている。 学生募集活動の重要な位置付けとなるオープンキャンパスに関して、開催回数の効果的な設定、体験授業、学校説明会の内容を検証を元に充実させている。 また学校認知度向上と検討者に対する学校生活のイメージ付けを狙い、各種SNSを適切に運用し、イベントや出願スケジュールの告知、イベント実施後のレポート、普段の学生の様子をリアルタイムに配信している。</p>		
7 - 3	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定めて明示し、適切に運用しているか	3
<p>入学選考基準、方法は学則に明記されており、募集要項、本校ホームページにて明確化している。 上記の情報に沿って運用している。</p>		
7 - 4	学生の受け入れは、入学定員に基づき適正に行っているか	3
<p>募集状況に応じ早期に定員に達しそうな学科コースについては事前に本校ホームページ、各種SNSで入学検討者へアナウンスをかけるとともに、定員に達し次第募集終了、希望者には類似分野の学科コースへの促しを行っている。</p>		
7 - 5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3
<p>学納金の算定内容、決定過程は明確にし、学則変更、及び学納金変更申請時に提出している。 学校パンフレット、募集要項、ホームページ等に学納金等徴収する金額は明記している。 また、学納金の水準は適宜把握に努めている。</p>		
7 - 6	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3
<p>入学辞退者に対して、年度開始前までにその意思を示した場合には、入学金を除く学費を返金する旨を募集要項、及び入学金等納入のご案内にて周知している。</p>		
評価者		澤田 吉剛

(8) . 財務

評価項目		自己点検 評価結果
8 - 1	学校及び法人運営を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤は確立しているか	2
負債を有さず、自己資金により日常の運営から設備投資に至るまで継続して賄える十分な資産を確保しており、長期的にも安定した運営が可能な状況にある。		
8 - 2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3
継続的に財務分析を行い、財務基盤の安定を図っている。		
8 - 3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3
各部門から当該年度の予算を提出し、それらを精査する段階で事業計画との整合性を図り、編成したものを評議員会の諮問を経て、理事会の承認を取っている。		
8 - 4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3
事業計画の予算に対して、決算で大きな乖離は生じていない。予算執行にあたっては上申書、立案書などを理事長が最終承認を行う体制を執っている。		
8 - 5	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実行しているか	3
監事による監査を実施し、理事会において報告が行われている。		
8 - 6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3
財務情報を当学園ホームページに公開を行っている。		
評価者		袖嶋 浩之

(9) . 法令等の遵守

評価項目		自己点検 評価結果
9 - 1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3
学則改正は適宜所轄庁へ届出を行っており、都から承認されている寄附行為に則して理事会・評議員会を開催、実施して学校運営を行っている。各種規程、及びマニュアル等を法令に則した形で整備し適切に運用している事で、高等教育の修学支援新制度の対象機関として認められている。		
9 - 2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3
個人情報の保護に関する法律に則して個人情報保護規程を整備し、適切に運用している。また、管理システムは通常のインターネットからは隔離したネットワークを構築し、外部からのアクセス等に備えた危機管理を行っている。		
9 - 3	学校評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3
本校の学則に明記して学校評価実施規程を整備し、実施にあたっては当該規定に則り各科、各部門担当者や評価委員で自己点検評価を行い、委員全員で精査している。		
9 - 4	学校評価の結果及び改善状況についての情報を公表しているか	3
評価結果については本報告書の通り取りまとめており、本報告書については本校ホームページの情報公開ページで公表している。		
9 - 5	学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか	3
自己点検評価と同様に本校学則に明記して学校評価実施規程を整備し、関連業界や地元企業関係者、接続する学校の教職員、及び保護者等から委員にご就任いただいて、学校関係者評価委員会を毎年度実施している。		
9 - 6	関連企業等団体、地域社会等からの意見を、学校の運営やその改善・向上において活用しているか	3
評価結果については委員の皆様からのご意見を取りまとめて報告書を作成し、報告書については本校ホームページの情報公開ページで公表している。		
9 - 7	教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか	3
ホームページ、パンフレット等によって公表されている。		
評価者		阿部 奈央

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目		自己点検 評価結果
10 - 1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
<p>町内会の地域イベントにおいて、音響機材の設置やステージ登壇者の手配等の協力をしている。</p> <p>また、外部（高校軽音楽部やエンタメ業界企業等）から施設利用の依頼があった場合には、授業に影響が無い範囲で各種教室やホールの貸し出しを行っている。</p> <p>その他、高校に赴いてのイベント・ライブ支援、楽器の点検修理等、音楽振興活動を行っている。</p>		
10 - 2	国際交流に取り組んでいるか	3
<p>ハリウッドにある姉妹校及び韓国の有名ダンススクールとの海外研修プログラムを整備している。また、海外に向けた学校情報の発信を積極的に行い、留学生を受け入れている。</p>		
10 - 3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1
<p>特に学校として奨励することはしていないが、学校に届く募集情報の公開を行っている。</p> <p>尚、規程や規則等に明記はしていないが、学生個々より活動の申し出のあった際には、授業の調整や公欠等の活動支援を検討する体制はある。</p>		
評価者		横堀 耕祐

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1. 学校の教育目標に対して

教育目標に掲げる育成人材像の育成に向けて学科と就職支援課が連携強化することにより、学生一人ひとりの進捗管理を行い、就職活動停滞者への支援体制が充実したことで本年度は、就職率93.7%と過去最高を達成することが出来ました。

一方で、音楽芸能スタッフ科および技術系3学科では一部コースにおいて就職希望率の低下や、進路未定者の増加、活動途中での離脱といった課題が顕在化した為、今後は早期段階からのキャリア意識の醸成と個別支援の更なる強化を行うことで、就職希望率の向上および進路未定者の減少に取り組んでまいります。

2. 本年度に定めた重点目標や計画に対して

学生との個別面談機会の増加や、一部学科においては家庭との連携強化として出席率の月次郵送を実施しましたが、結果としては前年同等の進級率・卒業率となりました。

引き続き中項目としてあげた以下項目の効果を求め、教職員一体となり更なる工夫が必要であると考えています。

- ・ 学生個別の対応強化
- ・ 施設、設備等の教育環境整備
- ・ 家庭（保護者）と学校との連携強化

設備については修繕計画に基づき老朽化したエレベーターや内外壁の修繕、トイレ等の改修を行い安全に学べる環境を整備しています。

3. 来年度重点目標・計画

1. 進級率・卒業率を向上させるための学生サポート体制の強化

- ・ 学生個別の対応強化
- ・ 施設、設備等の教育環境整備
- ・ 家庭（保護者）と学校との連携強化

2. 学科再編に向けたカリキュラム・設備・教具・広報展開等の準備を行う